

グリーンカーテン通信 No.2

令和4年6月25日号

ツルの摘芯と誘引



ゴーヤは、高温や乾燥に強いことに対して、ホップは高温多湿な場所や西日が苦手な植物です。カーテンに仕立てるためには、生育環境の他に、摘芯と分枝したツルを横に這わせるように誘引することが大切になります。

ゴーヤの摘芯は、本葉が6～7枚ほどになったらその先端の目を摘みます。「親つる」をカットし、また伸びたら「子つる」をカットします。こうすることで、ツルの途中から分岐して、ネット一面に葉が茂るようになります。

市役所庁舎カーテンの様子

市役所庁舎のグリーンカーテンは、ゴーヤとホップの苗を植えてから、2週間となりました。

ゴーヤは、少しずつ葉が茂ってきています。これから脇芽が成長して、葉が生い茂るように誘引していきます。

ホップには、植え込み後の高温多湿が厳しい状況のようですが、これから少しずつでも成長できるよう見守っていきたいと思います。



<6月21日撮影>

<誘引のポイント>

ツルがネットに上手く巻きついていない時は、ビニールひもなどでネットに結んで助けてあげましょう。また、葉が茂ってきたら適度にツルをカットして風通しを良くしましょう。



◆この記事に関するお問い合わせはコチラ◆

〒959-1692

五泉市役所 環境保全課環境政策係

五泉市太田1094-1 TEL0250-43-3911